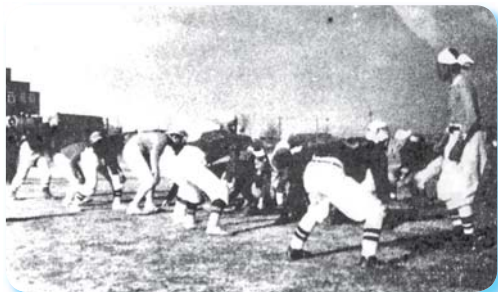


高校アメフト

発祥の地

池田中学校との初の公式試合



日本の中学・高校アメリカンフットボールの歴史は、昭和21年(1946)10月、旧制豊中中学校(現・府立豊中高校、上野西)から始まりました。敗戦後、進駐軍は日本にタッチフットボールを普及するため各地の旧制中学に指導にまわりましたが、その先駆けとして、大阪府内で豊中中学と池田中学校(現・府立池田高校)に白羽の矢

が立ったのです。
「当日、体育館に集まった50人ほどの生徒有志に指導したのは、日糸二世のピーター岡田軍曹でした」と話すのは当時中学3年生だった津田隆治さん(75歳、川西市在住)。2か月余り後の12月28日、

西宮第二球技場で行われた池田中学との公式試合は「我が国初の中等学校米式蹴球試合」と新聞報道されるなど、注目を集めました。

「試合当日、池田チームの装いはまちまちでしたが、豊中チームは手作りのユニホームらしきものをそろえて挑みました。上はラクターのシャツを紺色染料で染めて白襟を付けたシャツ、下は野球用のパンツに黒と赤のラインを入れて。防具がわりにシャツの裏の肩やひじ、ズボンの裏のひざや太ももには雑巾ぞうきんのような手製の布パッドを縫い付け、頭には日本手ぬぐい、といういでたちでした」。結果は6対0で豊中の勝利。集まった有志のほとんどが創部メンバーとなった「豊中中学タッチフットボール部」は、その後、関西高校選手権の覇者となるなど公立高校のフットボール部としては強豪に育ち、今も「アメリカンフットボール

部」として活躍を続けています。

OB会とピーター岡田さんとの交流も40年ほどの時を経て、15年前に復活。豊中・池田両高の合同チームがピーターさんの住む米国シアトルで合宿をしたり、逆にシアトルの高校生チームを招いたりしたこともありました。ピーターさんは平成16年(2004)に84歳で亡くなられましたが、昨秋には、津田さんらOB有志3人が3回忌の墓参りに現地を訪問されました。

豊中高校の中庭にある石碑には、ピーターさんから贈られたメッセージが刻まれ、高校アメフト発祥の地を後世に伝えていきます。



津田さん(左)と生前のピーターさん(平成15年)

広報とよなか2月号

平成19年(2007)2月1日発行(通巻682号)

【発行】豊中市

【編集】政策推進部広報広聴課

〒561-8501 中桜塚3-1-1

☎6858-2525(代表)

☎6842-2810(広報広聴課)

広報とよなかは毎月1回配布しています。届かない場合は広報広聴課までご連絡ください。

広報誌・広報番組・広告掲載の問合せは
広報広聴課☎6858-2028まで

R100 古紙配合率100%再生紙を使用しています。白色度は70%です

11ch 豊中・池田ケーブルネット

豊中市広報番組「かたらいプラザ」

毎日8時、12時、16時、19時、22時からの30分間

放送日	特集
1月29日(月)~2月4日(日)	住民税が変わります
2月5日(月)~11日(祝)	セフティメイト
2月12日(休)~18日(日)	ESDの取組み
2月19日(月)~25日(日)	学校紹介
2月26日(月)~3月4日(日)	公園を守る

豊中市ホームページ



<http://www.city.toyonaka.osaka.jp/>

このホームページには、子ども向けのコーナーや、英語や中国語、韓国・朝鮮語などでご覧いただけるコーナーがあります

豊中市電子メール



koe@city.toyonaka.osaka.jp